

春の叙勲 仙北市関係者 6名が受章

佐藤清雄氏、草薙稲太郎氏、小松清記氏、戸澤一郎氏、田口榮良氏、佐藤歳二氏

平成19年春の叙勲で、秋田県関係者73人が受章され、仙北市からは佐藤清雄氏(75歳・田沢湖生保内字源左工門野)が地方自治功勞により旭日小綬章、草薙稲太郎氏(71歳・田沢湖生保内字下堂田)が教育功勞により瑞宝小綬章、小松清記氏(69歳・西木町小山田字中村)が消防功勞により瑞宝双光章、戸澤一郎氏(76歳・角館町川原若神子)と田口榮良氏(70歳・田沢湖生保内字石神)が消防功勞により瑞宝単光章を受章されました。

また、仙北市田沢湖出身の佐藤歳二氏(71歳・東京都・元横浜地方裁判所長)が裁判官功勞として瑞宝重光章を受章されました。



佐藤清雄氏(旭日小綬章)

平成4年11月から平成17年9月まで4期13年の永きにわたり田沢湖町長を務められ、平成17年9月の町村合併後は同10月30日まで仙北市長職務執行者を務めるなど町政発展、仙北市誕生に多大な貢献をされました。また、昭和40年から平成4年までの7期27年にわたり田沢湖町議会議員を務められ、この間、議会議長をはじめ総務常任委員長などを歴任、地方自治発展のため尽力されました。



草薙稲太郎氏(瑞宝小綬章)

昭和35年から秋田県公立高等学校教員に採用され、角館南高校では19年の永きにわたり教壇に立つとともに、バスケットボール部の指導で輝かしい成績を残されました。昭和60年に横手工業高校の教頭に就任、平成2年に由利工業高校長、同5年に大曲農業高校長に就任され、高校教育全般をよく指導し、秋田県教育の充実・発展に尽力されました。



小松清記氏(瑞宝双光章)

昭和32年から平成12年まで消防団員として活躍。平成6年から平成12年まで旧西木村消防団団長。村を代表する消防人として消防活動に尽力を注ぎ、その社会貢献が認められ今回の受章となりました。



戸澤一郎氏(瑞宝単光章)

昭和22年に旧中川村警防団に入団し、平成8年まで旧角館町消防団員として活躍。平成7年から平成8年まで副団長として団長を補佐し、永きにわたる活動と功勞が認められ今回の受章となりました。



田口榮良氏(瑞宝単光章)

昭和33年から平成14年まで旧田沢湖町消防団員として活躍。平成9年から平成14年まで副団長。人の輪を基盤とした温情ある人柄と地域への貢献が認められ今回の受章となりました。